

公益財団法人大阪府国際交流財団

| | | | | | | | |
|------|----------------|------|----|------|-----|-----|------|
| 事業名 | 留学生等のための総合防災訓練 | | | | | | |
| 実施期間 | 2015年7月4日(土) | | | | | | |
| 場 所 | 大阪府堺留学生会館オリオン寮 | | | | | | |
| 参加者 | 外国人留学生 | 地域住民 | 学生 | スタッフ | 関係者 | 来場者 | 合計 |
| | 20 | 11 | 0 | 8 | 15 | 3 | 57 名 |

<実施内容>

公益財団法人大阪府国際交流財団では、平成27年度公益財団法人中島記念国際交流財団による留学生地域交流事業として「留学生等のための総合防災訓練」を実施しました。



避難所体験での消防指導(消火器の使い方)

当日は、会場を「避難所体験訓練」と「災害時多言語支援センター設置訓練」の2つに分けて、同時並行で行いました。「避難所体験訓練」は、会場を避難所に見立て、地震の経験や知識の少ない留学生等を対象に、地震発生時の対応、日頃から準備しておくことや避難所の役割についてDVD鑑賞やグループワークを通じて学びました。また地元警察からは、災害時の身の守り方を消防署からは、消火器の使い方やAEDを使った心肺蘇生法、応急手当等の指導を受けました。「災害時多言語支援センター設置訓練」は、ボランティアや行政担当者を対象に、堺市で大地震が発生したという想定で、コーディネーターの指導のもと、行政担当者は被害状況など外国人被災者に優先して届けるべき情報の選別と多言語翻訳依頼、やさしい日本語への変換、避難所巡回のための準備を行いました。ボランティアは、依頼された情報を多言語に翻訳するとともに、避難所の掲示板に張り出す手書きポスターを作成しました。また、被災者への相談対応や避難所巡回訓練を行いました。

<参加者からのコメント>

無記名

地震が起こったらまず身を守るために机などの下に身をかくし、落ち着いて行動する。その後、避難所へ避難する。避難したら、自分の安全を家族や学校に連絡することが分かった。

無記名

日本で被災してもサポートしてもらえるので安心と、外国人に思ってもらえるように、ボランティア活動をしたかったです。